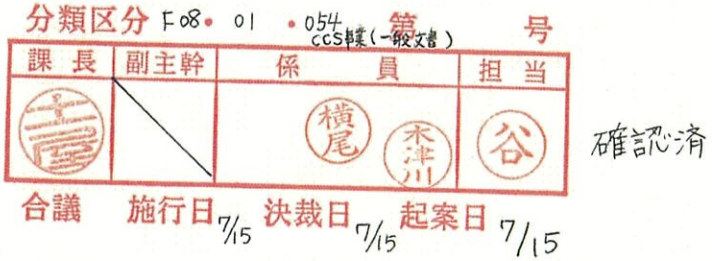
差出人 "[redacted]" <[redacted]>
送信日時 2026年07月10日（金） 11:16
To: "kankyohozen@city.sammu.lg.jp" <kankyohozen@city.sammu.lg.jp>
標題 [送信案内] うみとみらい通信第2号

---

kankyohozen[at]city.sammu.lg.jp様

本メールは[redacted]がSECURE DELIVERより送信しています。

山武市　環境保全課
谷様



確認済

平素お世話になっております。
うみとみらい通信第2号になります。
ご査収の程よろしくお願いいたします。

[redacted]

以下のURLからダウンロードいただけます。
[redacted]
ログイン画面上で「パスワード通知」ボタンをクリックしていただく事でパスワードがメールに送信されます。
ダウンロード期限： 2026/07/17 23:59

データ返信依頼があります。以下の日時までに上記URLからデータを返信して下さい。
返信期限：　2026/08/09 23:59

本メールは下記メンバーに同報されています。（敬称は省略しております）
"[redacted]" <[redacted]>

送信者

[redacted] <[redacted]>

このメールは配信専用のアドレスで配信されています。
このメールに返信されても返信内容の確認、及び回答は行えません。

第2号 うみとみらい通信

2026年8月1日発行

九十九里沖でCCS地下調査を開始

MCCS
首都圏CCS株式会社

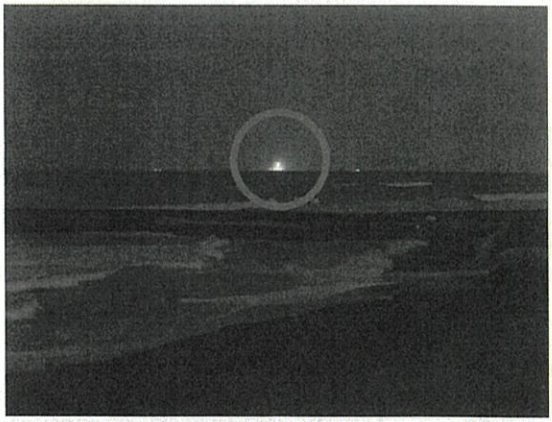
うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO_2）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。
地域の皆さまから、「どんな調査なの？」「安全なの？」といったご質問をいただいています。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月のトピックス

- ✓ 7月6日に1本目の地下調査を開始しました
- ✓ 調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます

掘削装置(近くから見た様子)



掘削装置(夜の野手浜海岸からの様子) 匝瑳市

今回の調査は何のため？

CO_2を地下に安全に長期間、閉じ込めるためには、それに適した地層の存在を確認する必要があります。そのために、調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます。

地下調査(現時点) → 安全性を確認 → CO_2貯留能力の調査

まずお伝えしたいこと

- ✓現在は調査段階です
- ✓CO_2の地下貯留は行っていません
- ✓安全を最優先に作業を進めています

CCSとは

二酸化炭素（CO_2）を分離・回収し、地下深くに閉じ込める技術のことです。
大気中のCO_2を地下に閉じ込めることから、地球温暖化対策に有効な技術といわれています。

今はどこまで進んでいるの？

2026年7月から1本目(沖合約5㎞)の調査が始まりました。
今後は2本目(沖合約13㎞)の調査も実施し、地下の状態を詳しく確認していきます。

Q. もうCO_2を地下に入れているの？

いいえ。
現在は地下の状態を調べる段階であり、CO_2を入れる作業は行っていません。

Q. 掘削装置では何人が働いているの？

約100-120名の作業員が昼夜交代で安全を第一に働いています。

Q. 地下調査中に発生したゴミは？

掘くず、泥水、ゴミなどは船で鹿島港まで輸送し、産業廃棄物として処理します。
海洋投棄は行いません。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」（海の駅 九十九里 第二駐車場横、10時～16時、休館日：火曜日、水曜日、年末年始）を通じてお伝えしていきます。
「うみとみらい」には、スタッフも常駐しておりますので、ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

今月の豆知識

Q. 地下調査ではどんな装置を使うの？
A.「掘削(くっさく)装置」を使用します。総重量は約2万トン(乗用車約1万台分)と非常に重たいんです！

発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：000-000-0000
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php

第2号

うみとみらい通信

2026年8月1日発行

九十九里沖でCCS地下調査を開始

首都圏CCS株式会社

うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO_2）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。
地域の皆さまから、「どんな調査なの？」「安全なの？」といったご質問をいただいています。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月のトピックス

- ✓ 7月6日に1本目の地下調査を開始しました
- ✓ 調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます

掘削装置(近くから見た様子)

掘削装置(夜の野手浜海岸からの様子)

今回の調査は何のため？

CO_2を地下に安全に長期間、閉じ込めるためには、それに適した地層の存在を確認する必要があります。そのために、調査用の井戸を掘り、地下の状態を調べます。

地下調査(現時点)　→　安全性を確認　→　CO_2貯留能力の調査

まずお伝えしたいこと

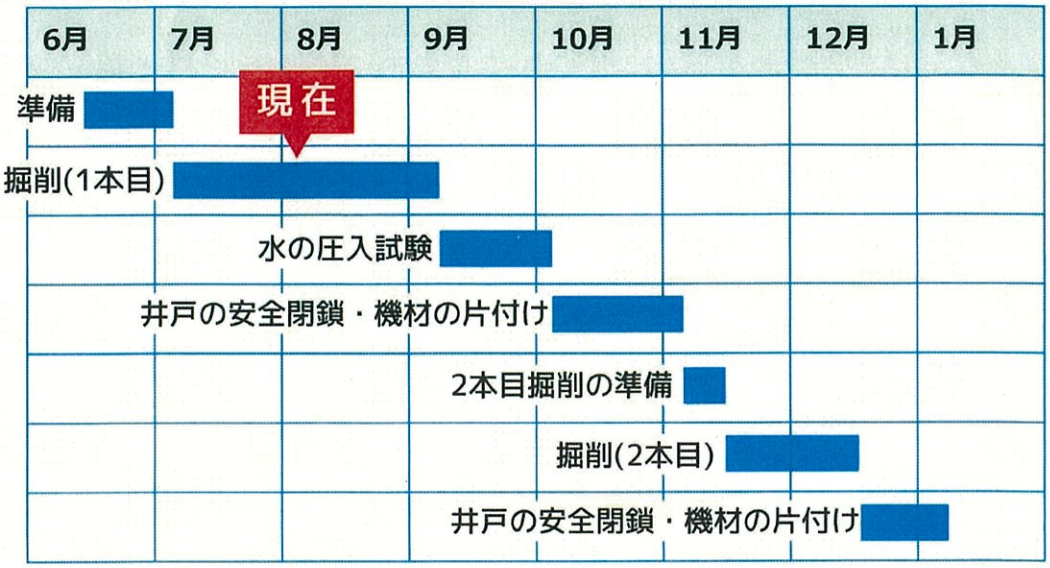
- ✓現在は調査段階です
- ✓CO_2の地下貯留は行っていません
- ✓安全を最優先に作業を進めています

CCSとは

二酸化炭素（CO_2）を分離・回収し、地下深くに閉じ込める技術のことです。
大気中のCO_2を地下に閉じ込めることから、地球温暖化対策に有効な技術といわれています。

今はどこまで進んでいるの？

2026年7月から1本目(沖合約5㎞)の調査が始まりました。
今後は2本目(沖合約13㎞)の調査も実施し、地下の状態を詳しく確認していきます。



Q. もうCO_2を地下に入れているの？

いいえ。
現在は地下の状態を調べる段階であり、CO_2を入れる作業は行っていません。

Q. 掘削装置では何人が働いているの？

約100-120名の作業員が昼夜交代で安全を第一に働いています。

Q. 地下調査中に発生したゴミは？

掘くず、泥水、ゴミなどは船で鹿島港まで輸送し、産業廃棄物として処理します。
海洋投棄は行いません。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」（海の駅 九十九里 第二駐車場横、10時～16時、休館日：火曜日、水曜日、年末年始）を通じてお伝えしていきます。
「うみとみらい」には、スタッフも常駐しておりますので、ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

今月の豆知識

Q. 地下調査ではどんな装置を使うの？
A. 「掘削(くっさく)装置」を使用します。総重量は約2万トン(乗用車約1万台分)と非常に重たいんです！

発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：000-000-0000
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php